

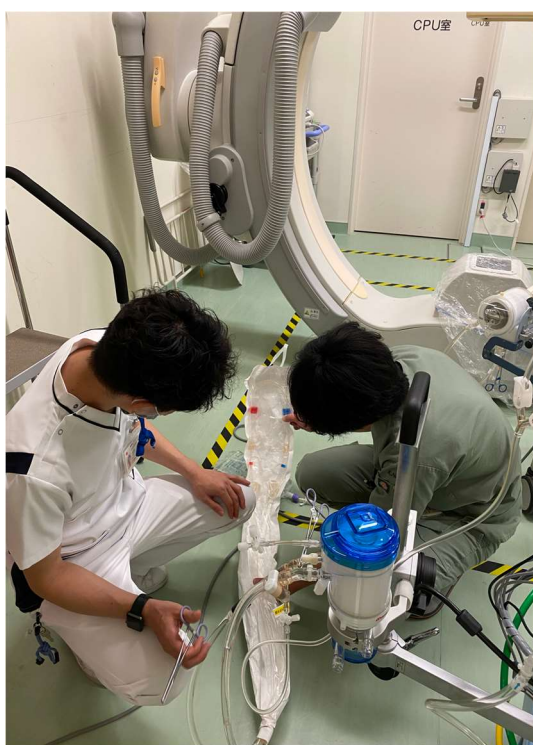
看護師特定行為研修 通信

Vol. 4 令和4年7月「循環器関連の実機訓練と超音波実習を行いました」

高崎総合医療センター 看護師特定行為研修
〒370-0829 高崎市高松町 36
☎027-322-5901

看護師特定行為研修委員長 鯉淵 幸生
特定行為研修・通信発行担当 村田 美幸

臨床工学技士さんより循環器関連に係る実機訓練を受けました！



PCPS のプライミングを体験

ICU や救命救急センターに勤務している看護師は、IABP（大動脈内バルーンパンピング）や、PCPS（経皮的心肺補助装置）の緊急挿入の介助を担当する事があり、その後の管理を理解しておく事が求められます。日頃から医療機器の管理について 教えてもらう機会が多い臨床工学技士から、送血カニューレや抜血カニューレを実際に触って指導を受けました。また、PCPSのプライミングも体験させてもらい、研修生2名とも目を輝かせて、研修を受けていました。



抜血カニューレ・送血カニューレに直接触れて学ぶ



経静脈的一時ペーシングの挿入と管理について学ぶ

不整脈を担当している臨床工学技士から、経静脈的一時ペーシングの挿入に必要な物品の説明と、設定変更の演習問題を出題してもらい、どんな設定にするのかを考えました。

臨床検査技師さんに超音波実習をしていただきました！

看護師特定行為における循環器関連の項目には、IABP の補助頻度の調整や、PCPS の操作及び管理が含まれています。これらの調整には、ただ単に生体モニターの数値を判断するだけではなく、患者さんがどのような病態にあるのか、直近の検査の心機能を把握する事が求められます。



脱水の評価の指標となる IVC（下大静脈）の描出の実習



超音波検査の指導をいただいた臨床検査技師さんの身体をお借りして、IVC を描出しました

看護師は直接心臓超音波を行う機会はありませんが、検査結果を解釈することが特定行為を行うためには必要です。そのため、臨床検査科で行われる心臓超音波検査を見学させていただきました。心臓超音波検査を始める前に、臨床検査技師さんが聴診器で心音を聴取していたことも、印象的でした。

他職種の仕事の流儀を知る

普段、自分達の活動するフィールド内で他職種と接し、各職種のプロフェッショナルを感じていました。看護師特定行為研修を通して、他部署に出向き、検査や処置を見学、医療機器の実機訓練を受けました。その時に感じたのは、研修生も、研修担当者である自分も、改めて他職種の仕事の流儀に触れ、それぞれの職種のプロフェッショナルを肌で感じました。委員会活動や認定看護師の横断的活動で、他職種と接する機会があっても、他部署で他職種がどのように仕事をしているのか、触れる機会が少ないのが現状です。

「井の中の蛙大海を知らず」にあるように、自分のフィールドを飛び出ると、同じ建物の中に、こんなにプロフェッショナルがいることに気付かされました。そして、その方達から学ぶ仕事の流儀は、今後の活動の糧となるでしょう。

お忙しい中、実習のご指導ありがとうございました。